

1. 科目名 (単位数)	韓国の文化と言語Ⅱ (2単位)		3. 科目番号	GECM1316
2. 授業担当教員	橋本 琢			
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	春期のテキストを継続して使用するため、「韓国の文化と言語Ⅰ」を受講していることが望ましい。			
7. 講義概要	韓国の文化と言語Ⅰでは言語を中心に講義を行なったが、Ⅱでは言語と文化両方を学習する。言語については基本的な挨拶から日常会話をはじめ、漢数詞、固有数詞などを応用し、会話を深める。文化については一般的な理論講義と共にビデオや現地見学(コリアタウン、高麗神社)などを併行して講義を行ない、より深い韓国文化の理解を高めることも目的とする。したがって、本授業は基本的なハングル文字を理解し、韓国の文化に興味を持っている学生が授業の対象として望ましい。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハングルの文字と単語を覚える</li> <li>2. 基本的な日常会話ができるように学習する</li> <li>3. 現代の韓国社会の政治・経済・社会・文化などについて理解する。</li> <li>4. 韓国の伝統文化・名節について理解する。</li> <li>5. 韓国の歴史や世界遺産などについて理解する。</li> <li>6. 韓国の文化を直接的に体験し、より深い文化を理解する。</li> </ol>			
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人レポート：授業で紹介された韓国の文化の一つを選び、日本との相違点や類似点について日本語でまとめる</li> <li>2. 状況設定に応じた韓国語での会話のロールプレイを作成し発表する</li> <li>3. 教科書のReview(p. 67, p. 100~101, p. 136~137, P168~170)の中から問題を抽出したものを総括テストとし、第15回の授業時に実施する。</li> </ol>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 李志暎『新装版 できる韓国語 初級Ⅰ』アスク出版、2010。</p> <p>【参考書】 小倉紀蔵『韓国は一個の哲学である &lt;理&gt;と&lt;気&gt;の社会システム』講談社学術文庫、2011。 金慶珠『歪みの国・韓国』祥伝社新書、2013。 金成玟『K-POP 新感覚のメディア』岩波新書、2018。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介と簡単な会話ができるのか</li> <li>2. 韓国の文化について理解し、日本と比べ類似点や相違点について理解されているのか</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ミニテスト及び授業への参加度(発表など)：40%</li> <li>2. 課題レポート及び予習ノート：20%</li> <li>3. 総括テスト：40%</li> </ol>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加することや発音などの練習のときは大きな声を出す。</li> <li>2) 韓国語の学習と並行して韓国文化についての紹介、解説を各講義時に適宜してゆく。</li> <li>3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をする。</li> <li>4) 授業中は私語、居眠りまた途中入出をしない(正当な理由以外は減点の対象になる)。</li> <li>5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守する。</li> <li>6) 韓国文化に関するグループ討議や会話のロールプレイには、メンバー全員が積極的に参加し、また他人の発表はきちんと傾聴する。</li> </ol>			
13. オフィスアワー	授業中に通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	シラバス説明と現代韓国社会の紹介	事前学習	シラバス・教科書に目を通し、韓国について関心のあることを学習用ノートに箇条書きにして授業に臨む	
		事後学習	現代韓国社会について理解したことをノートにまとめる	
第2回	第十課、何時からですか?	事前学習	第十課(p. 94~101)の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく	
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「書いてみましょう」と第1課~6課までの復習問題をする	
第3回	第十一課、いつ日本へ来ましたか?	事前学習	第十一課(p. 102~109)の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく	
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「書いてみましょう」と「話してみましょう」を復習する	
第4回	第十二課、お名前は?	事前学習	第十二課(p. 110~117)の例文を音読し、「基本文系練習」に解答を記入しておく	
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「書いてみましょう」と「命令・挨拶表現」を復習する	

第5回	第十三課、どちらへ行っていらっしゃいましたか？	事前学習	第十三課 (p. 118～123)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「聴いてみましょう」と「書いてみましょう」を復習する
第6回	第十四課、日本と韓国は似ているけど、けっこう違うでしょう？	事前学習	第十四課 (p. 124～129)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「書いてみましょう」と「話してみよう」を復習する
第7回	第十五課、温泉に行きたいです。	事前学習	第十五課 (p. 130～137)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「話してみよう」と「書いてみましょう」及び第11～15課までの復習をする
第8回	第十六課、プレゼントを買うのでお金をたくさん使います。	事前学習	第十六課 (p. 138～143)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」を復習する
第9回	第十七課、結婚式に何を着ていけばいいですか。	事前学習	第十七課 (p. 144～149)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「話してみよう」と「聴いてみましょう」を復習する
第10回	第十八課、食事でも一緒にしましょうか？	事前学習	第十八課 (p. 150～155)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、韓国語で勧誘(食事やイベントなど)の会話のロールプレイを作成する
第11回	第十九課、写真をちょっと撮っていただけますか。	事前学習	第十九課 (p. 156～161)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「聴いてみましょう」と韓国語の「～てください」表現の復習をする
第12回	第二十課、自転車に乗ることができますか。	事前学習	第二十課 (p. 162～170)の例文を音読し、「基本句型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「聴いてみましょう」と第16～20課までの復習をする
第13回	韓国の儒教文化について理解する	事前学習	事前に配布する韓国の儒教文化に関する資料を読み、その基本概念について学習しておく。
		事後学習	関心を持っている韓国文化と韓国の儒教文化の関連性について学習用ノートにまとめておく
第14回	韓国語による韓国文化の紹介	事前学習	第1回授業の事前学習で箇条書きにしておいた韓国への関心事について、韓国語(または日本語)による紹介文の作成しておく
		事後学習	最もよかった発表をひとつ選び、その評価のポイントを箇条書きにしておく
第15回	全体のまとめ	事前学習	授業を通じて新たに発見した韓国の魅力についてまとめておく
		事後学習	今後、韓国とどのような関わり合いを持ちたいかをまとめる